

施策評価シート【分野別施策】

施策名				関係部				
1-①		子どもの学びを充実する		学校教育部、社会教育部				
所管事業に関連する成果指標								
指標名		単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
				27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
授業（国語、算数・数学）の内容がよく分かったと回答した児童生徒の割合	小学校	%	77.2	77.2	77.3			78.5
	中学校	%	69.0	69.0	67.1			70.5
自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合	小学校	%	73.9	73.9	72.2			74.5
	中学校	%	67.5	67.5	65.1			68.5
関連事業								
○幼・保・小・中連携の推進事業○生きる力を育む学校づくり推進事業○外国人英語指導者の学校訪問事業○日本語指導協力者派遣事業○地域に根ざした教育推進事業○英語教育推進事業○道徳教育推進事業○子ども読書活動推進事業								
決算額								
		28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費（千円）		75,033						
執行率（%）		99.34						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」								
●幼・保・小・中の指導の一貫性を図るため、連携学習研究会等で指導のあり方等を研究協議し、継続的な連携の取組の必要性を改めて確認するとともに、相互理解を深めました。 ●学校や地域の特性を生かした教育課程を編成し、ふれあい教育や総合的な学習の推進、芸術鑑賞の推進、体験学習の充実等を図ることで、幼児・児童・生徒の豊かな人間性と生きる力を育む学校づくりを推進しました。 ●外国人英語指導者の学校訪問を通じて、幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ態度を育成しました。 ●日本語指導が必要である幼児・児童・生徒に対して、日本語指導協力者を派遣することにより、日本語の習得や学校生活への適応を図りました。 ●地域の教育資源を生かし、密接な連携のもと、魅力ある学校教育活動を展開するとともに、学力向上を目指して学習支援ボランティアを教科等の補助指導に活用することで、生徒個々の状況に応じた学習支援をさらに充実させることができました。 ●講師招聘による教員の研修会・学習会等の実施や、外国人英語指導者の効果的な活用の支援により、教員の外国語活動の授業に関する力量を高め、児童のコミュニケーション能力の								

育成を図りました。中学校では生徒の実用英語技能検定受検に対する奨励金を交付し、学習意欲を高めました。

●道徳授業研究会を小・中学校において実施することで、学校の教育活動全体を通じて体験活動も大切にしながら、児童・生徒の心に響く道徳教育の充実を図りました。

●各中学校区の子ども読書活動推進協議会の代表者会議の開催や「本読みマラソン」など図書ボランティアの交流を通じて、読書活動の推進を図りました。また、市民と行政の協働による子ども読書活動推進フォーラムを開催し、読書活動の重要性を広く啓発しました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●幼稚園・保育所・小学校・中学校の学びの連続性をより意識した取組が必要です。 ●各学校（園）が、子どもたちの実態や地域の特性を生かした内容を組み入れ、主体的な取組が行えるよう調整することが必要です。 ●英語や外国の生活・文化に親しむ態度の育成を図るため、外国人英語指導者に対するニーズに応える必要があります。 ●学校（園）には、日本語指導を必要とする幼児・児童・生徒が多く在籍しており、多様な言語による指導が必要です。 ●地域の教育資源を、学校や生徒のニーズに合った分野に活用できるよう、引き続き検討していく必要があります。 ●小学校の外国語活動の充実や中学校における英語科教員の授業の実践的向上を図ることが必要です。 ●平成30年度からの特別の教科道徳の実施に当たり、新学習指導要領に則った授業が展開されるよう検討する必要があります。 ●それぞれの地域の実情にあった図書ボランティア活動を尊重しつつ、図書に関する情報提供や講習実施などの支援により、活動を充実させることが必要です。	●国全体の動向を踏まえつつ、幼稚園・保育園・小学校・中学校の一貫性を図るため、具体的な取組を研究、実践していきます。 ●学校や地域の特性を生かした学びを充実するため、地域との更なる連携に向けた協議・情報交換の場を確保します。 ●コミュニケーション能力の基礎を培うため、外国人英語指導者とともに指導を行うことで、英語に対する興味・関心を高めます。 ●幼児・児童・生徒及び学校等のニーズに応じた日本語指導協力者を派遣します。 ●地域との更なる連携のもと、魅力ある学校教育活動を展開します ●学習指導要領改訂を踏まえ、小・中学校における英語教育の充実と教員の授業力向上に向けて取り組むとともに、小学校では英語の教科化を見据えた取組を検討します。 ●道徳教育の充実を図るため、小・中学校の連携を図るとともに、教科としての道徳を見据え、内容の精選、充実を図ります。 ●地域や学校での図書ボランティアの活動において、地域の実情に合った連携強化を進め、図書ボランティアがより充実した活動ができるよう、サポートに努めます。